第32回　札幌国際スキーマラソン

1、日時：　平成24年2月5日（日）8:50スタート

2、場所：　札幌ドームを会場として旧西岡オリンピック距離競技場を含む周辺

3、参加者　：　2088名(海外53名：10ヶ国）

4、コース：　3km、5km、10km、25km、50km

5、特別ゲスト：

●W杯ストックホルム大会：スプリント・クラシカル3位「夏見円選手」
●日本ハムファイターズ「B・Bくん」、コンサドーレ札幌「ドーレくん」
●女子サッカーチーム「ノルディーア北海道」の選手達

6、内容：

●徐々に気温も上がり絶好のコンディーションの中それぞれのペースで雄大な景色を満喫しながら雪原を快走し、汗を流しました。
●スキーマラソンから歩くスキーまで世代間を問わず参加ができ仲間、家族等との絆ができました。又海外、本州から観光を兼ね参加し人も見られました。
●特別ゲストの選手もそれぞれ歩くスキーに参加し、大会を盛り上げました。
●この大会は、世界15カ国のクロスカントリースキー大会で構成するワールドロペットに加盟するアジアで唯一の大会で海外から参加も多数あり国際色豊かな大会でした

25kmスタート直後

笑顔の特別ゲスト「夏見円選手」も5kmに
出場します。

マイペスで・・・
3052
3124

林間の景観に
見とれて・・・

表彰式記念撮影

特別ゲスト「B・B]と「ドーレくん」は表彰式のプレゼンターを勤め大会を盛り上げてくれました。

女子の50キロ部では当協会でインストラクターを勤めた古澤緑さん（8スポ）が優勝しました。

●タイム：3時間6分50秒4

スキー　距離

古沢、3度目優勝

札幌国際スキーマラソン　13日（札幌市、札幌スキー連盟、朝日新聞社など主催）

札幌ドーム周辺を発着点とするコースであり、男子50キロは山田洋（自衛隊）が初優勝。女子50キロは古沢緑（8sp－ハチスポ）が3年ぶり3度目の優勝を飾った。

【男子】50キロ　①山田洋（自衛隊）2時間21分33秒7②佐藤（自衛隊）2時間30分13秒6③スシー（チェコ）2時間34分56秒5▽25キロ　①佐藤雅雄（自衛隊）1時間9分59秒0②柴田（自衛隊）1時間10分5秒1③沢田（自衛隊）1時間10分6秒2

【女子】50キロ　①古沢緑（8sp－ハチスポ）3時間6分50秒4②腹部（梅藤整形外科）3時間15分2秒6③米田（たんぽぽの丘）3時間17分17秒2▽25キロ　①渡辺赤保（山形・米沢興譲館高）1時間31分52秒4②渋谷（北海道・真栄中教）1時間34分30秒4③渋谷（鶴農学園大）1時間36分58秒8

弟子の前で実力披露

1998年長野大会など冬季五輪に2度出場した古沢が、女子50キロを制した。3度目の優勝は、これまでとひと味違う喜びがあった。

1年半ほど前に、知人とクロスカントリースキーやウオーキングなどを指導するスポーツクラブ「8sp－ハチスポ」を立ち上げ、講師を務めている。その会員とともに出場。"生徒"らの前で実力を見せた36歳は、「今回はきちっと走ろうと思っていたので、うれしいですよ。教えている人たちも応援してくれました」と笑顔で話した。

2002年ソルトレーク五輪後に第一線を退いた後も、競技を続けてきた。「この競技は体に強い負荷をかけなくてもできる。長く続けられるスポーツというのを教えていきたい」と競技者拡大に努めていく。

女子25キロを制した渡辺　高校1年生。「けっこう後ろの方からスタートしたので、どんどん抜いていった。楽しんで滑れました」

女子50キロで優勝した古沢緑

B．B君の過剰サービスも受けました

●さっぽろ雪まつり歩くスキー体験事業

1、日時　：　平成24年2月6日（日）～2月12日（日）10：00～17：00
2、場所　：　大通西11丁目広場　　1周　約150mコース
3、目的　：　雪まつり会場において歩くスキーの体験事業を実施することによりウインタースポーツの魅力をPRする。
4、対象　：　市民及び観光客
5、事業内容：歩くスキーの装着、着脱と滑り方のコツ等の指導及び安全管理　（延べ83名）
6、利用人員：　延べ1，369名
7、内容：

●冬の祭典「第63回雪祭り」が2月6日から始まり、東日本大震災からの復興を願う大雪像などが見られ中、今年も参加型の歩くスキー体験コースがオープンしました。
●全員で12名の従事者で構成し、8名がコース内の指導です。今年は昨年と違いコースではマンツーマンの指導で2周行いました。
●参加者に合った指導又コミニケーションが取れ大変好評で感謝され、記念写真等一緒に撮られる一コマもありました。
●初日は、国内外230名が体験され雪もスキーも初体験と云った人たちが身振り、手振り、手取り、足取りの大奮闘でした。私たちが感動したのは、言葉が通じなくとも心が通じたことでした。
●　12日まで開催していますので、多くの人の参加をお待ちしています。

雪のHTB広場に展示してある
本願寺飛雲閣の雪像

サザエさん一家

上手になり笑顔の子供・・

少しずつ上達しました

注意事項
受付②
受付①

リレハンメルオリンピックノルディック複合団体金メダリスト
の 阿部雅司さんの滑りの見本とタイムトライアルを実施
６名の方が挑戦しました。（阿部さんはストックなしで２周）
それでも阿部さんが早かった様です。・・・・２月１３日

第22回　おおたき国際スキーマラソン

1、日　時：　平成24年　2月12日（日）　10：00スタート
2、場　所：　大滝総合運動公園
3、天　候：　曇りのち雪、　気温ー9℃　（スタート時）
4、参加人員：　海外4カ国・道外・道内　828名
5、コース：　スキーマラソン30km、15km　、
　　歩くスキー8km、6km、3km
6、内　容　：

●昨年の21回大会は、12月の大雨によるコースの一部崩壊で中止となり、2年ぶりの開催となりました。

●3歳から89歳までの参加者は、清流・長流川沿いや白銀に輝く徳舜瞥山ろくの雄大な自然を満喫しながら、平地はスケーティング、下りは直滑降で加速する等自分に合ったペースで力走し、スキーを楽しんでいました。

●ゴール後は、お楽しみ抽選会があり、ラッキープレゼントや大滝特産キノコセット等が当たりました。　また、キノコ汁を食べたり、温泉入浴券で「北湯沢温泉郷」で入浴し疲れた身体をリフレッシュしました

各スタートを待つ選手

15kmスタート
おおたき国際スキーマ
おおたき

8kmスタート
379

道新Jr.歩くスキー教室in中島公園

1、日　時　：　平成24年2月19日（日）　午前、午後
2、場　所　：　中島公園歩くスキーコース
3、天　候　：　晴れ、のち曇り
4、参加人員：　約40名（小、中学生対象）
5、内　容　：

●特別ゲスト阿部雅司氏（リレハンメル五輪、複合団体金メダリスト）の模範滑走を拝見後各人指導員のもと歩くスキーの基礎を習いました。特に高学年の方はのみ込みが早くすぐスイスイと滑走していました。

●練習後は各人今日どれだけ上達したか「ミニレース」をしました。

●父母の方を含めて阿部さんの金メダル首にかけたり、緒に記念写真を撮ったりしました。

●今年度は、場所を変えて実施したので、参加人員がやや少なめでしたが来年度は多くの生徒さんの参加をお待ちしています。

午前の参加者・・

ミニレース前の特訓・・

特別ゲスト阿部雅司さん囲んで・・・

●利根別原生林スキーハイキングと

1，日時：　平成24年3月3日（土）

- 10：00～ウオーキングセンターで開会式、伊藤会長、浜島会長の挨拶
- 10：20～スタート12：45解散

2、場　所　：　岩見沢利根別原生林

3、天　候　：　快晴

4、参加人員：歩くスキー協会26名、岩見沢スキー連盟20名合計46名

5、コース　：　約8km

6、内　容　：

●連日ニュースに取り上げられた岩見沢の雪の多さには驚きました。絶好の天気の中、岩見沢スキー連盟の案内でゆっくり組と健脚組に別れて自然林の中を会話等をしながら、それぞれ親交を深めました。

●心地よい汗を流し登り上がると、そこは視界の開けた見晴らしの良い萩の山展望台に着きました。 白銀の田園風景、遠くは夕張岳、芦別岳が見え大変素晴らしい景観でした。 また、展望台には東屋が有りましたが屋根には、大量の雪が積もっており、今にも倒壊しそうで、誰も中には入りませんでした。

●今日はひな祭りのせいか？終了後甘酒をいただき親睦を深め来年も再会の約束をして別れました。 帰りは湯元岩見沢温泉「なごみ」に入浴し、疲れをとり、その後昼食やビール等で談話がはずみ大変盛り上がりました。

ウオーキングセンターで開会式、伊藤会長浜島会長挨拶・参加者

利根別原生林スキーハイキング岩見沢スキー連盟との合同今回で3回目になりますが、当協会は自由参加としましたので6名の参加で人員が少なかったです。

岩見沢スキー連盟伊藤会長を先頭に

林の中を軽快に楽しみ行くパーティ（林間コース）

爽快に行く参加者

アップダウンの林間コース
今年は利根別ウォーキングセンター～萩の山スキー場見晴らし台までの往復約8kmコースに変更したため、昨年までの急な下り坂はなくなり楽に滑る事ができました。

展望台の東屋屋根雪が積もっており、今にも倒壊しそう・・・

爽快に行く参加者

第37回　道民、札幌市民歩くスキーの集い

1、日時：　平成24年3月18日（日）
2、場所：　滝野公園
3、天候　：　曇り　気温　2度C
4、参加人員：　198名（エントリー数）
5、コース　：16km、12km、6km、1km
6、内容：

●天候は曇りで、やや風がありましたが、積雪が80cmとあり、コースは圧雪されスケーチングの参加者は快適な滑りをしていました。一方クラシカルの方は苦労していました。

●5歳～92歳の方まで幅広い年代の参加者がいて市民的な大会でした。

●ゴール後は、今回サプライズゲストとして参加していただいた阿部雅司さん（リレハンメル五輪、複合団体金メダリスト）の金メダルを手に持ったり又、記念写真を撮ったりしていただき皆さん感激していました。

●HBCテレビPM5時半から大会の様子が放映されました。

スタッフ・ミーティング

3･11震災で大会を開催するか否か･･･挨拶する会長

各コースがスタート・・

完走後92歳参加者と記念写真

3・11大震災の為黙祷で始まった大会でした
16km

今年初めて設けた1kmコースでは、親子の方で4歳の女の子とお母さんの2人でしたが親子で楽しく滑っていました。

滝野に於ける今年最後のイベントも無事終了・満足顔のスタッフ
全員集合写真，御苦労様でした。

春山歩くスキー遠足＆表彰式I

１、日時：平成24年4月1日（日）　9：20分出発
２、場所：中山峠中山峠～蓬莱山～反射板のある通称中山
３、参加人員　：　37名
４、天　候：　　吹雪のち晴れ
５、内　容：

●昨日から降った新雪のもと、健脚組とゆっくり組みに分かれて山頂をめざしました。
急勾配のコースをマイペースで汗を流し電波塔のある蓬莱山に全員到着しました。その後、健脚組は夏に行けない反射板のある通称中山を目指し自分の体力に挑戦しました。

●スキーハイキング後定山渓温泉で疲れを癒した後ビール等を飲み昼食会ではそれぞれ懇親を深めました。
その後距離認定表彰式を行い、又恒例の抽選会では全員実用的な景品が当たり大変盛り上がりました。
平成23年度の行事は全て終了致しましたが、来期も多数のご参加を宜しくお願い致します。

春山歩くスキー遠足＆表彰式II

＊平成23年度距離認定表彰者

★　8000km表彰・・・後藤武夫さん

★　3000km表彰・・・岩崎泰夫さん

★　1000km表彰・・・大平羊吾さん

おめでとうございます以上3名

●後藤さん曰く「92歳まで歩くスキーをやれた事に感謝します。その結果が表彰に結びつきました、更に長生きして1万kmに挑戦します」と明言し全員から割れるような拍手で表彰をたたえました。

出発前の集合写真・参加人員:25名

ゆっくり組と健脚組の分岐点で・・

電波塔のある蓬莱山‥

健脚組反射板のある通称中山で・・

定山渓温泉にて‥

温泉入浴後懇親会

第30回　蘭越町ニセコ連峰歩くスキー大会

1、日時：　平成24年4月3日（日）
2、場所：　蘭越町ニセコ連峰チセヌプリ周辺
3、天候：　スタート時曇りのち晴れ　、　気温1．5℃
4、参加人員：　311名（道内外）
5、コース　：　5km、10km、15km、30km
6、内容：

●積雪3．3Mのもと春の柔らかな日差しを浴びニセコ山系の大自然を満喫しました。又本格的なアップダウンに富んだスキーを楽しみ爽やかな汗を流しました。

●9歳から92歳迄の参加者が途中で雄大な景色を見たり、写真を撮ったり、食事などマイペースで、タイムも順位も関係のないほのぼのとした大会でした。

●今大会は、30回記念大会で恒例のお楽しみ抽選会では、豪華賞品地元温泉無料宿泊券、特産品のらんこし米等々、又本州から来た参加者全員には「はるばる来た賞」があたり大会を盛り上げました。

前日打ち合わせ会議
非常口

開会式

各コーススタート

マイペースで・・途中で一息
234
339

給水し更に頂上を目指して・・

ニセコ連峰シャクナゲ岳が見えました